

# 令和5年度第1回子ども・子育て会議開催にあたりアンケート内容について各委員よりいただいた事前のご意見

当日参考資料4

## 1. 事務局説明

	資料番号	ページ番号	設問番号	内容	対応
1	5-2	P.6 P.7	4-Q4 4-Q5	「特にない」が満足しているのか、無関心なのかを分ける必要はありませんか？	施設や保育者に求めている内容を聞いている設問のため、特に分ける必要性はないと考えています。
2	5-2 5-3	P.15 P.13	11-Q2 9-Q2	Q2どのような子育て支援の充実を図って欲しいかの選択肢。 「10住宅面の配慮」は市営住宅を指すのか。そうであれば「市営住宅」と記載をしてはどうか。	「市営住宅」での対応と考えてるため、その旨追記いたします。
3	5-3	P.6	4-Q1	設問中「…過去、年間を…」の「過去」について「小学校就学以前に…」としてはどうか？	ご意見の通り変更いたします。
4	5-4			保護者対象アンケートのように、アンケートの趣旨や協力のお願いは必要。	ご意見の通りのため、今後作成いたします。
5	5-4			こども基本法第5条の子どもの状況把握ならば、全国一斉学力調査時の生活状況調査の情報共有はできないのか？	生活状況調査の対象は小学6年と中学3年となり、本アンケート調査と対象者が異なります。重複する設問もありますが、趣旨に添い、幅広くこどもの声を聞くという観点からも調査が必要と考えております。
6	5-4			①こども対象のアンケートの公立小学生には学校で調査となると、こどもの意志に関係なく全員に回答してもらうということか？ ②私立小学生とのバランスは考える必要はないか？	①公立小学校では学校での調査となりますが、こども本人が拒否した場合は、強制しようとは考えておりません。 ②私立等小学生は、学校単位での実施が難しいため、公立小学生と合わせる事が難しいと考えております。
7	5-4	P.1	1-(1)	選択肢(13)真菅北小のふりがなは「ますがきた」である。 選択肢(11)白檀南小のふりがな中「みなみ」がぬけている。	web調査の性質上、学校名のフリガナは削除しようと考えております。
8	5-4	P.3	3-(2)(3)(5)	設問文中の「ふだん」という表現は、子どもは学校へ行く日か休日か迷うのでは？	学校へ行く日で想定しているため、表現を「学校へ行く日」と変更したいと考えています。

## 2. 審議いただきたい案件

	資料番号	ページ番号	設問番号	内容	対応
1	5-2	P.2	1-Q7 2-Q1	「子育てを主に行っている方」と「子育てに日常的に関わっている方」の違いはあるか？	<p>対応</p> <p>★審議の内容</p> <p>「主に行っている方」は、中心的に子育てを行っている人を一人選択、「日常的に関わっている方」は、「主に行っている方」を含め、普段から手伝ってくれている人を複数選択という違いとして記載しています。</p> <p>★表現の変更が必要か</p>
2	5-2 5-3	P.4	2-Q6 2-Q3	<p>「不安・負担について」</p> <p>①選択肢に「子どもとスマホ・ゲーム等との付き合い方」も入れてはどうか。保護者からは、子どもとデジタル機器との関わり方に対する不安をよく聞く。</p> <p>②未就学児が対象になると思うが、「保活・待機児童に対する不安・負担」の選択肢が入っていない。</p> <p>資料5-2 P.12 Q3では「子どもの面倒を見てくれる保育園こども園が見つからない」が選択できるが、回答の対象者が「職場復帰した方のみ」になっており、すでに施設へ預けている方が回答されている可能性がある。今待機児童となり困っている人の声を反映する設問・回答項目がない。</p>	<p>①不安の内容について経年比較を予定しています。また、子育て施策としてつなげていく大きな不安についてを聞く設問となります。デジタルとの付き合い方については施策というより、個別の課題と考えるため、本設問の選択肢には追加しにくいです。選択肢として該当しない回答について「その他」で入力していただきたいと考えています。</p> <p>②「7子どもを預けられる施設や条件」という項目に含まれると考えています。</p> <p>★②に関して、敢えて「保活・待機児童に対する不安・負担」という選択肢を作る必要があるか</p>
3	5-2	P.12	9-Q3	<p>①「1 急な残業」とあるが、「残業・勤務体系（時短できないなど）・転勤など」が全般的に子育て世帯の負担になるのではないか。</p> <p>②「3 家族の理解が得られない」「4 職場の理解が得られない」については、表向き理解を示しても、実際の働きやすい体制が得られていないことが多い。「3 家族の理解が得られない、得られにくい」「4 職場の理解が得られない、得られにくい」の方が適切でないか。</p>	<p>①②ご意見の通りと考えています</p> <p>★①について「勤務体系・転勤など」という文言を追加してよいか</p>
4	5-4	P.3	2-(4)	「自分の悩みなどを何でも話せる人はいますか」という設問では、自分の子どもから「何でも話せるような人はいない」との回答を得た。設問の表現の変更をした方がいいのではないか。	<p>「何でも」という言葉を削除し、「自分の悩みなどを話せる人はいますか」という表現を考えています。</p> <p>★表現について</p>
5	5-4	P.4	4-(1)	選択肢③「先生や友達」を「先生」と「友達」に分けた方が子どもは答えやすいと思う。	<p>庁内検討委員会で、設問数を減らすために敢えてまとめるという結論でした。</p> <p>★設問数と答えやすさのどちらを優先するか</p>

6	5-4	P.6	5-(2)	選択項目に「商業施設、コンビニ、ゲームセンター」を追加した方がよいのでは。	リアルなこどもの過ごし方を把握するためには必要と考えます。 ----- ★追加の必要性について
7	5-4	P.6	5-(3)	「③子どもがたくさん集まる施設」「④自由に過ごせる施設」の違いが分かりにくい。具体的にイメージがわく表現に変更してはどうか。 また「勉強や読書ができる施設」など、もう少し選択肢を増やしてはどうか。	親が不在の放課後の子どもの居場所としてどのような施設がいいのかをイメージするための設問と選択肢です。事務局案としては、「③いつ行っても誰か子どもがいる施設」「④最低限のルールを守れば、おとなは見守りだけで自由に過ごせる施設」という表現を考えています。 ----- ★子どもがイメージしやすい表現について